



木童通信 vol.36

平成23年12月発行

木童 東京ショールーム
 open 月～金 10:00-18:00 ± 11:00-17:00
 close 日・祝 (事前予約いただければ日祝の見学も可能です)
 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティ1F
 TEL:03-5358-5125 FAX:03-5358-5126
 URL:http://www.kodoh.co.jp E-mail:Tokyo@kodoh.co.jp

★東京散歩 ～上野・旧岩崎邸庭園～



湯島駅が最寄りなのですが、その日はJR御徒町駅から上野公園を抜けて行ってきました。明治29年の建築で、木造の洋館と和館、そして別邸の山小屋風撞球場の3つの建築からなっています。自分が思う明治やそれ以前の建築の見どころは“**適材適所の木使いの妙**”です。正直、古びた木材は分かりにくいので、職員の方に尋ねて教えてもらったベランダの床材(現在の材は2001年公開時に修復)は、チーク材との事でした。明治以前の建築には決して登場しない、そして現在でも使用しない樹種ですが、大航海時代の船の甲板に使われていたのがチーク材。海商王の岩崎家だからこそ、外部での使用に耐えうる樹種として選んだのでしょう。また和館には、長さ14メートルの桧の一枚板の天井板があったりしましたが、当時は相当の値段がしたと思われます。(今は材の価格がこなれていますが、輸送手段が問題になりますね)。撞球場のバルコニーにあるコロニアル風のポーチ柱は栗の無垢材が使われており、120年の風雪と歴史に耐えた劣化が美しさを醸し出していると思うのは木に魅せられている木童のスタッフだからでしょうか。



▲栗のポーチ柱。これぞ自然劣化の造形美。

★産地を訪ねて ～長野・東信地区～



長野県上田市には木童の最も信頼する木材加工工場「ナチュラルウッド」があります。ヤニと捻じれることで悪名高きから松の小径木から、床暖房にも耐えうる床材「**南波から松**」を作り出す職人「**南波**」さんが日々頑張ってくれています。今回の訪問は、ナチュラルウッドさんにリクエストした新アイテム「杉・15mm厚の床材」の品質チェックです。偉そうに聞こえるかもしれませんが、これは南波さんからも是非にと望まれての事で、作り手側と販売する側双方の合意があって、初めて世に出せる製品が生まれると考えてくれているからです。どこにでもある杉の節有の床材だからこそ、これぞと認めてもらえる製品にしたいと思いつつ切磋琢磨しています。加工技術に関しては、全幅の信頼を置いています、どの程度の原板を選んで加工するかは、センスや好みの問題です。

消費者に近いところでアンテナを張っている木童のスタッフとして、意見を出し製品に反映していきます。もちろん、一枚一枚表情の違う無垢材なので、それなりの巾はありますが、満足してもらえる床材になったと信じています。

★産地を訪ねて ～北海道・道央地区～

木童の主力商品になりつつあるからパネル・とどパネルの製造元や道産材の製造元、ショールームにて販売している木の小物の製造者に本格的な冬が来る前に会いに行こうと予定したのですが、今年最初の冬将軍を引き連れたの旭川入りとなりました(笑)。慣れない雪道、ちょっと歩くとすぐに滑るので、靴に装着できるカンジキを購入し準備万端。これで雪道も安心です。これまで納品した「**住宅などでの評価**」「**今後の見通し**」「**製品レベルに対しての要望や相談**」などを各工場と真剣に話し合いました。これからの季節、北海道は雪や氷に覆われて行きますが、木材の伐採の時期でもあります。木が水を吸い上げない冬季。林道を作らずに凍りついた川の上をブルドーザーで上がって行けるこれからの季節が山仕事の始まりなのです。一大消費地の東京や大阪などの人口密集地に対して良いものを出荷しようと、農業や林業が主な産業の地方の村や町の人達は、木くずにまみれ頑張ってくれています。その想いを繋ぐのが木童の役割だと思ひ努力しています。来年もよろしくお願ひ致します。



カンジキ

★家づくりの現場から ～K邸・大田区 設計：光風舎～

都心、隣家が密集する敷地、(準)防火地域、このような条件で住居を構えるケースはとても多く、土地だけを見た時果たして我が家には光が入るのだろうか、風は通るのだろうか、窓を開けたら隣と目があったりして...、などと不安になると思います。敷地を見て空間を考えるのは建築家の職能、腕の見せ所と言っても過言ではありません。設計事務所「光風舎」さんの今回の建物も環七近くの住宅密集地。お伺いした時3Fのリビングからは空が望め、1Fの居室からは借景の緑が望め、階段はスリットで窓からの光を優しく取り込んでいました。



ちなみに階段は**杉の60mm厚(木童から材及び階段加工)**、各部屋の窓台やカウンター、建具の引き手には**杉柵目の源平パネル**を使用して頂きました。これがなかなか好評とのこと。表面のスッキリな表情と三層構造の杉のテクスチャのギャップが結構面白い。実は芯材も杉にしています(通常はとど松)。それが正解だったかなとニヤリ。

★家づくりの現場から ～K邸・江東区 設計：Studio KAZ 施工：アイ・アール

築約40年になる公団の一室をまるごと大改造した現場です。時代を感じる太い梁が部屋内にドンと出っ張っていて、建具の高さが1800mmという驚異のサイズ。部屋も細かく区切られている昔風の間取りでした。木部はとど松(床は**蝦夷しらぎ**、間仕切り壁や家具には**とどパネル**)にダークな色あいの塗装を施して、柔らかさと落ち着きを兼ね備えた空間に。改装後は、以前とは比べ物にならないくらい広がりを感じる部屋に生まれ変わっていました。



<改装後> とど松は色乗りが良いので、濃色塗装との相性が良い素材です。

柱を立てることで生まれた凹凸が廊下の良いアクセントに。

★木製腕時計 ～小物、ますます充実☆～

前号のUSBメモリーに続き、今回は木製の腕時計をご紹介します。造りは精巧で、デザインも◎。普通の時計としても十分に通用するデザインですが、そこは“木である事”が大事なポイント。付け心地は軽く、金属製のアクセサリ類がダメな方にもオススメです。時計屋さんには卸していないそうですので、時計好きの方も木製品好きの方も、ぜひ木童でチェックしてみてください。



現在ショールームには約10種置いてあります。
価格 13,650円～
 木童スタッフも愛用中。
 女性用もあります☆

木童 NEWS ラインナップ

- ★12/29 (木) ～平成24年1/5 (木) までお休みをいただきます★
 年末年始は運送が止まったり、混み合ったりしますので、ご注文はお早めをお願いいたします。また、この期間のショールーム見学のご予約もお受けできませんのでご了承ください。
- 1/7 (土) 木の研究会の『24坪の家』建築家による家づくり相談会を予定 (詳細はWebにてお知らせします) **企画展のご案内**
- 第114回企画展 12/6 (火) ～24 (土) 「どこでもOpen house Vol.5」瀬野和弘+設計アトリエ
- 第115回企画展 1/10 (水) ～28 (土) 「家は買うものではなく創るものです」展 奥山裕生設計事務所
- 第116回企画展 1/30 (月) ～2/4 (土) 「おびのびの家 第7弾 (仮)」NPO 法人木の家だいすきの会
- 第117回企画展 2/6 (月) ～25 (土) 「鉄のしごと」展 カヌチメタルワーク